

# 市政発展は

## 財政の立て直しから

### 財政再建に

#### 結集した協力

司会 ということは、景気よかつたそのままの姿勢で、無理をしてきたということが現状をか



市長 いや、まだ全然越していません。ことしにしてもゆるめることはできず、なお、一層

職者の不補充などは高知県にも例がなく、自治省でも全国的にあまり例がないといわれています。そのため職員の給与面や労働面にしわ寄せがいきまされたが、これでも十分だといはれてく

もし出したということですね！ 行政の多様化と肥大化によって、市の財政では適応できないほどに行政一般が肥大化し、経常収支比率が百分の百を超すことになったのです。健全な財政に引き戻すためには、百分の百以下にならなければならないというこの一年間に職員はもとより、議会は与党、野党を問わずみなさんが一丸となって



### 痛い開発公社の先行行政

議長 地方公共団体が企業のようなあり方であったという住民の見方の一つに、過去の高度成長の中で行なった先行行政の、安

### 将来の素案

#### 内部で考える

市長 財政の再建と市政の将来ということは、他方本願的に上部機関の国とか県とかに直結するとかいうほかに、学者を雇って写真真をつくるとか、財政再建には金融機関のベテランを入れるとか、という考え方がありましたが、その必要は無いという

## 市長・議長 新春を語る



五十二年の新春を迎えて、小笠原市長と橋本議長にことしに向けての夢の市政あれこれを語ってもらいました。

司会 おめでとうございます。市長、議長ともに一年ということですね。市長 そうです。一年がまるんで少したったところですが、議長はわたしより少し先輩になりました。



市長 私は議会の方の援助や心配を受けるなど、過保護みたいな状態で議会側から受け入れられたので、そんなに苦労したことはありません。それにお世辞ではありませんが助役や課長も非常によく、職員組合や同和問題

心配はなく、貴の花が土俵に上がったときみたいにはらはらすることはないです。(笑い) 議長 市長は過保護に育ったというが決してそうしたことではありません。行政上のベテランでも私も卓越した魅力の持ち主である

### 市政の重荷に

#### 人件費と福祉費

議長 議会として一年を振り返って見たとき、大変困難な年であったといえます。高度成長から総需要抑制、低成長へとすすんできた中で、行政の先づきを連綿と続けてきたのがこれまでの南国市政の歩んできた道で、そうした中で議会として過去どうあったかということ、議会人として皆さんの致りに耐えないことがあります。

市長 これまでの過去の広報紙を見て感じたことは、財政問題で先輩市長の事業の先づりによる重荷とインフレによって軽減されることを怠らなふしがありま

## 先づりの行政と

# 肥大化行政に苦悩



市長 南国市の病根とか困難性はどこにあるかといえますと、前市長、前々市長時代にもすでに研究されていたでしょうが、やや抜けているのは、いつの間にか市政の重荷になっていった人件費とか厚生福祉行政、空港問題などを明確に指摘していないことです。また、同和行政についてはそれほど強調されていませんが、深く考えるべき点の一つであると思います。



考え方に立っています。市長 市政の将来の案は学者の力を借りない方針ですが、かならずしも外部の人のご意見を求めないということではなく、ただ、外部の人を雇うということ、返って運営がスマートにいかないこと、市の懐の中まで

### 空港 被害者の立場主張

司会 いま、空港の話ができましたが、財政問題などについてはこれくらいし、空港についてお願いしたいと思えます。私の印象ではなにか明らかな感じがしたのではないかと感じます

市長 空港のことは議長ご本人からいいぬくかと思えます。知事と市民連合との話し合いがもてるようになったのは、すべて議長のご尽力によるものです

市長 私は、就任する前から南国市民は被害者であるということをはっきりもっています。しかし、これ以上被害が大きくなるかどうかは別問題で土地を失うことがはたして大きな被害であるか、損害であるかは疑問があります。これまで、国の輸送機関が退歩

直接関係のない人(多くは学者か有識者)にまで明らかにしないことが、混乱をさけるためにより大切と考えてのことです。それに学者といわれる方々の姿勢と考え方によって問題が、逆に派生する懸念もあります。

司会 最近、また川の水が公害の問題があるようですが……

### 水の有効利用の方向で

市長 太陽と緑と水々と南国市をほめたたえたことばかりでなく、質もよいものでなければなりません。これも公害に関連してきますが、養まんな業が昨年の二倍位になる傾向です。この養まんなによる排水の悪影響を考へず、無制限に野放し状態にやらせることに問題があります。ところで養まんなによる水揚げ十二億円(南国市)は、水稲一回作の生産高に匹敵します。しかし、果は公害に対してなんの規制もせず、逆に奨励をしているため、市町村行政に大きな負担が掛かっています。もう一つは、南国市は水に恵まれています。水に弱い地区があり、水の対策が必要であると考へています。

また、水を適当に流すということばかりでなく、地下水をどうするかという考へを考へなければ、将来の水の足りなくなる不安があります。そのためには川

の全面的な三面舗装は避け、素掘りのこいやふなの棲める川を考へ、舗装するにしても側面舗装にとどめるとか、三面舗装でもところどころ石を敷きつめた川底にするなど、地下浸透のできるようにすべきで、また、川幅を拡げため池を作つて、降雨時の出水に対しての受皿を大きくすることも必要ではないかと考へます。

### 息の長い 同和行政で

議長 同和問題は、財政、空港とともに市政の三つの柱であるという事は、市長のいわれるとおりです。同和問題は、受ける立場と執行する立場が一体にならなければなりません。それが異なる場合問題点がでてきます。そのため同じ立場になって理解され、措置するということなければ発展はあり得ません。過去の同和

行政のあり方と求める側のあり方の矛盾を調整し、正常な同和行政のあり方にもつてゆくことこそ、市長のいわれる大きな基本的な問題でなからうかと考へます。議会はそうした市長の考へ方の中で、正常な姿でいけるよう注目し、その是非については、是非は、是非非として、執行すべきものは執行するという基本は失っていません。四万四千市民注目の同和行政を軌道に乗せるという一言につきます。

市長 これを養うこと春のごとしということばのように、万物をいつくしむ気持ちは、行政の基本だと考へます。同和行政というのは教育が基本であり特に社会教育が大きな問題です。この問題に限りませんが南国市のみならず、弱いものをいつくしみ、幼いものを育てるといふあたたかい気持ちをもつて、しかも正しい姿勢で納得のゆく市政が実行できるよう模索してゆかなければならないと思えます。また、空港、財政問題は比較的短期間で一応の解決ができるものですが、同和問題は息長く取り組んでゆくべき大きな問題です。

### 市長・議長 新春を語る



### 福祉三条例は復活

司会 昨年廃止された福祉三条例は復活ということですが、議長 議会にお願いして復活したいと考へています。福祉といえは積極的に聞かれますが、単に物質的でなくそのうえ精神的なものも考へるべきです。議長 福祉三条例は四月一日効力が発生するように復活します。行政の手とどかない困った人

### 立地条件生かす

### 行政の創造に努力

司会 この辺で夢を語ってほしいと思えます。――図書館とか学校の建築は、議長 図書館は必要なものではないという夢は沢山もつていますが、やらなければならぬことが先に立ち――学校は計画の順位があつて、教育委員会で計画、準備を進めています。市長 計画や順位を尊重しすめゆきませんが、受け入れ態勢とのつたところから優先します。大塚小学校は、地主の方から土地の提供の申し出があり、用地の話をすすめています。

たちに損得を考へず、常にお世話してくださっている人々を高く評価したいし、単に困った家庭に金を与えるよりも、心のささえになつてくれる人を大切にすべきです。困っている人たちも、物でなく、精神的な相談相手や心のよりどころをボランティアの人たちに求めているもので、世の中をよくするための行政指導と措置をなわがりにすることなく、明るい社会づくりに努めたいと考へています。

### 職員に感謝

市長 五十二年年度の課題はいろいろありますが、もちろん空港問題は一つです。南国市の都市計画は不自然な状態であり、線引きの再検討が必要で、高知市などから土佐田、野市町へ人口が流出しています。法規上きびしい制約のある南国市は避けられています。また合併前のそれぞれの中心であった集落地の都市計画についても考へたいものです。財政再建はもとより北部のみかん園、比江の運動公園などの処置など、堅実な南国市政の将来の発展につとめ、空と陸の高知県の玄関にふさわしい都市にしたいと思つています。議長 とくに申し述べたいことは、最近、市の職員は官僚的でなく、

うに長年蓄積された借入金金の償還額が、現在、まだ上昇の傾向にあります。これが、頂点にきて下降線をたどるようになれば、そうした事業ができるという目標を持ち、夢もついています。議会としては、まず、財政を健全なものにするに努力してゆきます。

議長 夢がもてる新しい年を迎えるようにするのが行政の責任ですが、過去をういつた行政がなされてないことを反省し、夢が実現でき市民に希望と明るさがかかるような、市民相互の中で協力し合つてゆける市民づくり、市の盛勢づくりが一番大事だと思つています。市長 同感です。南国市は基本的には日本のにも有数の恵まれた条件をもつていて、地理的にもいいところに位置していると思つています。そうした立地条件と人の和を生かした行政を創造し、よりよい市政発展の基礎を市民とともに築いてゆきたいと念願しています。司会 それでは、この辺で……

